

**荻須高德** 洋画家。戦時のわずかな期間を除いて、生涯の殆どをパリを拠点に活動、<敗戦>後の日本で一時ブームに。

おぎすたかのり

田中正造直訴1901 = 愛知県千代田村(稲沢市)に生れる。

**日露戦争終**・1905 = 4歳 :

韓国併合・・・1910 = **9歳** :

**明治天皇没**・1912 = 11歳 :

**第一次世界大戦終**・1919 = **18歳** :

**原敬首相暗殺**1921 = 20歳 : 県立第三中学校を卒業、上京して川端画学校に学び、藤島武二の指導を受ける。

水平社結成・1922 = 21歳 : 東京美術学校西洋画科に入学。

金融恐慌・・・1927 = 26歳 : 卒業。友人とともに、佐伯祐三を訪ねる。フランスへ留学、先に現地に行っていた佐伯夫妻と交遊。

共産党事件・1928 = **27歳** : \*初めて、サロン・ドートンヌに入選。

以後、サロン・ドートンヌ、サロン・デ・アンデパンダンへ出品を続ける。

海軍軍縮条約1930 = 29歳 : 最初の個展をパリで開催。

**満州事変**・・・1931 = 30歳 : 再び個展。\_サロン・デ・チュイルリーに招待される。

五一五事件・1932 = 31歳 : 個展を開催。スイスの蒐集家の知遇を得る。

帝人疑獄事件1934 = 33歳 : \_スイスで最初の個展を開催。サロン・デ・アンデパンダンに、招待出品。

二二六事件・1936 = 35歳 : \_サロン・ドートンヌ会員に推挙される。「プラス・サンタンドレ」,

**日中戦争始**・1937 = **36歳** :

第二次大戦始1939 = 38歳 : エジプトに招かれ、個展を開催。「街角」,

大政翼賛会・1940 = 39歳 : \*戦火を避けて13年ぶりに帰国。新制作派協会の会員に迎えられ特別出品、以後再渡仏するまで出品。紀元2600年奉祝美術展に出品の「モンマルトルの裏」が文部省賞上となる。

**日米開戦**・・・1941 = 40歳 : 大都市のデパートで巡回個展。

・・・1942 = 41歳 : 従軍する。

**敗戦**・・・1945 = 44歳 :

新憲法公布・1946 = **45歳** :

新憲法施行・1947 = 46歳 : 第一回美術団体連合会に出品。

極東裁判判決・1948 = 47歳 : 美術団体連合会に出品。\_日本人の画家として戦後初めてフランス入国を許され、以後、パリに永住。

三大事件・・・1949 = 48歳 : \*モナコ賞展で特賞。再び、サロン・ドートンヌ、サロン・デ・アンデパンダンへ出品を続ける。

**独立回復**・・・1951 = 50歳 : \_サロン・ド・メに招待され、以後毎年出品。

**テレビ放送始**・1953 = 52歳 : ミラノで個展。\_フランス美術批評家協会から民衆絵画賞。

自衛隊発足・1954 = 53歳 : 毎日美術賞(特別賞)。

**55年体制始**・1955 = **54歳** : \_神奈川県立近代美術館で「荻須高德展」開催。

国連加盟・・・1956 = 55歳 : \_ブリヂストン美術館で「荻須高德展」開催。フランス政府からレジオン・ドヌール勲章。

なべ底不況・1957 = 56歳 : 「ベニス展」を開催。

美智子妃・・・1959 = 58歳 : タベルニー賞。

**安保闘争**・・・1960 = 59歳 : ジュネーブの美術館で「荻須高德展」。

タイタイ病始・1961 = 60歳 : \_サロン・ド・トロワSで大賞。

全国総合計画1962 = 61歳 : サロン・アニエル賞。国際形象展(東京)創立同人。名古屋日動画廊で「荻須高德展」。

TV宇宙中継始1963 = 62歳 : エブルー美術館の日本展に招待出品。

**東京リベック** 1964 = **63歳** :

大学紛争始・1965 = 64歳 : 日本の大都市のデパートで巡回個展。ローマでの在欧日本人美術展に出品。

**石油ショック**1973 = **72歳** :

高齢になっても、

成田衝突・・・1978 = 77歳 : \_「金のかたつわり」など、創作を続け、

・・・1981 = 80歳 : \_フランス国立造幣局が荻須高德の肖像を浮彫にしたメダイユを発行し、後に大統領となるシラク・パリ市長は、荻須について、'最もフランス的な日本人'と評した。文化功労者となり、最後の日本帰国。

**中曽根内閣**・1982 = **81歳** :

バブル始・・・1986 = 85歳 : \*パリのアトリエで制作中に倒れ、没した。文化勲章追贈。